

THE RECORD 11

2000
No.492

- MIX 2000 in 札幌～富塚会長基調講演～
- 第7回日本プロ音楽録音賞 ノミネート作品決定
- 第10回国際レコード技術会議開催
- 統計資料－CDのジャンル別新譜数の推移

「IT革命」と音楽産業の将来について～MIX 2000 in 札幌での当協会富塚会長基調講演から

「IT革命」が最も進んでいる米国において、「音楽配信」あるいはインターネット（以下ネット）を通じた音楽コンテンツの流通は非常に活発で、毎日膨大な量のRecorded Musicが、ネットを通じて個人のパソコン（以下PC）間で、或いは海賊サイトから個人へと流れている。そこで流れる録音楽曲数、ダウンロード（以下DL）回数については、Napsterの登録者が3,000万人以上、Gnutellaソフトは公開一日だけで135,000人が取り込んだ、と言わされており、これはネズミ算式に増殖するので、毎日数百万曲以上であろうと推測していたが、先頃同国の調査会社から以下の発表があった。

（註1）米Media Metrix社 調査（10月6日）：

8月の1ヶ月間に1回以上Napsterサービスを使って音楽をPCに取り込んだ人数は6,700,000人。これは本年2月の調査結果と比べ6倍に増加している。

（註2）Webnoize調査（10月3日）："Packet sniffing"システムを利用して、Napsterユーザーの数と114のサーバから提供されるファイルのトラッキングを実施。9月の平日、休日を含む数日間行った結果、9月にNapsterからDLされた音楽は13億9千万曲と推定。（1日平均：46,300,000曲）。常時、64万人がアクセス。

理由としては、「タダである」こと、更に同国ではCATVの容量の大きい回線が通信用に利用され、DLの時間も早く、通信料も日本などと比べて極めて安い、という状況がある。

一方メジャーレーベル会社では、日進月歩の情報送信技術を利用して、CD等のパッケージに替わり、マイクロソフト、IBM、インターネット等の開発した「音源が盗まれず対価を支払った顧客だけに届く」という配信・決済技術を利用し、配信音楽市場を創る試みを行っている。

しかし未だ実験の段階で、「配信音楽市場」が形成されつつあるとはいえない。ユーザーの使い勝手や技術上の問題、また買える音楽の種類が少ないという面もあるが、最大の問題は、一方で同じ音楽がタダで入手できることであり、このような環境下で「有料配信音楽市場」を形成することは、極めて難しいと言わざるを得ない。

「レコードの本質とコピーライト」

もし、レコードというメディアが存在せず、この世に「生演奏」しかなかったならば、「音楽」がこれほど多くの人々に愛されることも無く、「音楽産業」というものも成立しなかった、と断言できると思う。

その「レコード」の本質的価値はなにか。それは「音楽を音楽たらしめるもの」と言えると思う。

レコードというメディアは、「もう一度聴きたい」という人々の欲望に応えてくれる。何回でも好きな時間に好きなだけ繰り返し「聴く」機会を与えてくれる。そして「この歌が大好きだ」という文化的な現実が誕生し「愛聴曲」「愛唱歌」となる。言い換えれば、レコードによって、一つの新しい音楽が「存在感」を持つということである。「音楽を音楽たらしめるもの」とはそういう意味である。これが「レコードの本源的価値」である。これを唯一の資産価値として「レコードという商品」は成立している。

その資産価値を構成している要素が「音楽著作権」と総称されるものであり、作詞・作曲者、演奏者、レコード製作各々の権利などが、一枚のレコードに包含されている。

よってレコードを購入した個人は、これら一枚のレコードに内包された「知的所有権」を個人的に使用する権利の対価を支払っている。そして、レコードの売り上げ収入からこれらの権利者に「知的所有権」使用料が分配されている。つまりレコードと言う商品は、オリジナルそのものが複製物であって、著作権者のみが複製する権利を占有する、ということである。これを「コピーライト（COPYRIGHT）」と言う。文字どおりコピーする権利である。

「コピーライトの危機」

この「コピーライト」が今、デジタル技術の発展によ

り無断で盗まれてしまうという危機に直面している。

ひとつはいま米国で大問題になっている「インターネット海賊」、つまり市販のCDから自分のPCに音楽を取り入れて、欲しい人にネットを通じて無料でデジタル・コピーさせてしまう。これを可能にしたのが、Napster、Gnutella等の「ファイル交換ソフト」である。まさに知的所有権を無視した、著作権無法地帯だ。こんなことが許されれば、音楽家やレコード会社が苦労して、多大な投資をして世に出した「Recorded Music」がどんどん盗まれて個人の所有に帰してしまう。

坂本龍一氏がある新聞のインタビューに「音楽家が自分の権利を護る唯一の方法は作品を発表しないことだ。これは音楽文化の崩壊だ」と答えていたが、まさにその通りである。

もう1つの大問題は「CD-R海賊版」である。CD-RはCDと全く同じ大きさで、音の圧縮もなく、そっくりの複製物を簡単に作りうるもので、オリジナルCDから1度に8枚、20枚と高速度で複製できる機械が、昨年来ヨーロッパを中心に出回り、これを個人が複数台買い込んで、自宅の一室で海賊版を大量に作って市場に出している。価格が正規品の1/10程度なのでよく売れる。個人家庭の一室であるため発見することは殆ど不可能で、IFPIの推計では、ヨーロッパだけで何千箇所もあるとのことだ。

昨年全世界で売られたCDのおよそ25%が海賊版、という恐ろしい状況である。

デジタル技術進歩の中の「インターネット海賊」「CD-R海賊」、この2つの脅威にさらされ、早急に対策が講じられなければ、21世紀には世界の音楽産業が崩壊してしまうかも知れないような危機に直面している。

「コピーライトの危機に如何に対処するか」

ではこの状況に如何に対処したらよいのか。21世紀に我々音楽産業が、崩壊でなく発展する方法はないのだろうか。

まず、法律的側面からの規制。Napsterに対し「著作権侵害の違法行為」として、RIAA（米国レコード協会）が訴訟を提起した。まずはこれに勝訴してもらうことが、ネット海賊をなくす第一歩である。本年7月にサンフランシスコ連邦地裁はRIAAの訴えを認め、Napsterの一時中止を命じたが、Napster側がすぐ控訴し、現在第9巡回控訴審（日本の高裁にあたる）で裁判が進行中である。10月2日に、原告・被告両者のヒアリングが行われたようだが、11月にはこの控訴審の判決が出るであろうと言われている。

事の重大さを認識したホワイトハウスの弁護士もRIAAを支持した声明を出しているので、おそらくRIAAの勝訴という結果になると思うが、Napster擁護派の学者や弁護士がおり、

1. インターネット時代には独占的な権利など存在しないと考えるべきだ。
2. NapsterにはCopyrighted Musicの無料交換以外の用途もある。
3. Napsterなどのファイル交換ツールは新曲にアクセスする機会を増し、オリジナルCDの販売増に貢献している。

という主張をしている。

1は、知的財産権そのものを否定する思想であり、我々が資本主義社会を肯定し、法治国家で生きている以上、こうした意見は論外であると思われる。

2は、自分で曲を作り演奏して、著作権などはいらないから、とにかく多くの人に聴いてもらいたい、と言う人も確かにいる。しかし、Napster上で流通している圧倒的多数の楽曲は、人気アーティストの人気楽曲であることが、ある調査で判明している。

これによると、Napster利用者のうち「自分の音楽ファイルを発信しているのは全体の3%」、残りの97%はDL専門、さらながらヒット曲の無償配布ヤミ市場である。

レコード会社が多大な投資をして生み出したスターの音楽が、CDの購買の替わりに他人のパソコンから取り込

めることは、マイナス効果のほうが遙かに大きいと推定せざるを得ない。

3に関しては、同国では経済全体の好景気を反映して、CDの販売量も大きく伸長したことは確かだが、Napsterがそれに貢献しているか、というとむしろ逆であることが、次のSoundscan社の「CD店頭消化調査」からわかる。

同国の多くの大学には学内LANが張り詰められており、学生はこれをを利用して常時高速で、誰かが入手したCDから、著作権者に無断で、無料で、それをPCにアップロード(以下UL)し、またDLしている。

大学近辺のレコード店のCD販売が減少しているという事実がマイナス効果を証明している。

この調査はいずれの年も1~3月の時点を行っている。Napsterが猛威を振っている現時点を考えると、現時点ではもっと落ち込んでいると推定するのが自然だろう。

「Napsterは違法である」と米国の法廷で最終判決が出れば、ネット上で流れる違法楽曲は激減するのではないか。「世に盗人の種は尽きまじ」であるから、違法行為を絶滅できるわけではないが、悪貨が良貨を駆逐するという悲劇を避けることができ、正規の配信音楽、つまりレコード会社が有料で音楽を配信する「ネット音楽市場」が徐々に形成される可能性が出てくる。

因みに日本では、最近の著作権法改正により「送信可能化権」がレコード製作者などの著作隣接権者に付与された。もしNapsterのサーバーが日本国内におかれて、或る個人が入手したCDから自分のPCにその楽曲をULした場合、その時点で「送信可能化権の侵害」となる。

しかし、ネットに国境はないので、日本もブロードバンド時代となってDLに要する時間とコストが現在と比較にならないような高速・低コストになると、米国にあるNapsterのサーバーを使って、邦楽ヒット曲の違法配布が自由に出来てしまう。よって同国において「違法判決」

▶ Soundscan社(音楽商品セールス調査)

・調査サンプル:「全米大学」……全米3,454大学周辺の2,099販売店
「トップ40大学」……インターネット利用の進んだトップ40大学周辺の44販売店

・音楽商品購入金額の推移

| | 1997年 | 1998年 | 1999年 | 2000年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 全米合計 | 100% | 108% | 111% | 118% |
| 全米大学 | 100% | 108% | 103% | 101% |
| トップ40大学 | 100% | 108% | 93% | 87% |

- 比較のため、全て各年第一四半期(1月~3月)の数字を使用
- 1997年の第一四半期の各販売額を100%とした場合の増減を百分率で表示(前年比ではない)

が出ることが絶対に必要だ。

しかし、Napsterの違法判決が出たとしても、ネット海賊を絶滅することは不可能だろう。Gnutella等は中央サーバーを持たないので、訴える被告の特定が出来ない。

ネット上の交信は全てサービス・プロバイダー(以下ISP)を通して行われる。この場合のISPは、他人の著作権を盗んで不特定多数の人に音楽を配信する海賊行為を行う「場」を提供していることになる。この責任をどう考えたらよいのか。

米国では1998年に成立したDMCA(Digital Millennium Copyright Act)の中で、次のように規定した。「Notice & Take-down」つまり『ある人がネット上にて(名誉毀損、プライバシーの侵害、著作権の侵害等)被害を受けた。被害者が加害者のホームページもしくはサイトをISPに通知すると、ISPはそのサイトをアクセス不能にする。しかし加害者とされた人から異議申立てがなされたら、被害者は2週間以内(10労働日)に、異議申立て者を法的に訴訟しない限り、異議申立てを認めてサイトが復活する』というものである。

メタリカというロックバンドが、自分の楽曲が盗まれているとして30,000人のサイトを調べ上げて閉鎖を申し立てた。ところが、その全員が異議申立てをした。メタリカとしては30,000件の訴訟を起さなければならず、それは物理的に不可能。かくて30,000のサイトは2週間後に復活

してしまった。

DMCAという法律は、その欠点を露呈したのである。

こうした事例も踏まえた上で、日本においてはプロバイダーの責任をどう定めるべきか、と言う議論が公式に始まっている。通産省の産業構造審議会および文化庁の著作権審議会で正式にこの問題をとりあげ、審議が進んでいる。当協会もこれに対して、法制化への意見書を提出している。(内容はDMCAの欠陥を補うような形で、ISPの義務を法制化して欲しいというもの)。

次に、技術的側面からの規制はどうか。「ネット海賊」が出てくる背景は、CDに記録されている音楽データを簡単にPCに取り込むこと(Ripping)が出来てしまう点にある。全ての根源はここにある。これを不可能にする技術はないのか。

欧米の色々な研究機関がこれに取り組んでいる。有力な研究機関としては、Oak Technology, Midbar, TTRの3社がある。

デジタル・コピーが一切出来ない新しいCDフォーマットを作ることは比較的簡単のようだが、これには二つの問題が生じる。

1. 現在、購入したCDから、家庭内で個人的に使用する目的なら「著作権侵害」から免責されている「私的複製」(例えばCDからMDへのコピー)も不可能になる。法的には著作権者にこの権利は認められているが、家庭内録音機器がこれほど普及している現在、そこまでやついいものかどうか、という問題。

そこで考えられるのが、CDのスペックを変更することで、新しいCDに/「家庭内個人複製」一枚だけ許す/PCには取り込めないようにする/PCに取り込んでも自分が聴けるだけで他人のPCに送ることは出来ない/等が設定出来る技術が研究されている。

SDMIという国際的技術会議、あるいはRIAA, IFPI, RIAJからなる国際レコード技術会議は、今真剣にこのテーマに取り組んでおり、新しいCDについて来年春ごろには新しい一つの技術提案がなされるであろうと思う。

2. 上記技術が完成したとしても、登場以来20年近くの間に既に世に出てしまっている何10万タイトルというCDは、自由にPCに取り込める。

これを阻止する技術的な方法は、現在のところ残念ながらない。

よって万一Napsterのようなソフトが「合法」ということになってしまふと、今までCDとして発売された全ての旧譜はネット利用者にタダでDLされてしまい、これを防ぐ方法はない、ということになる。

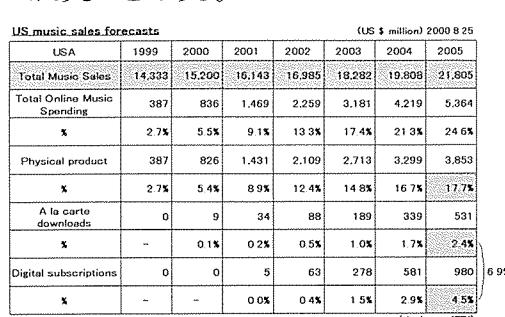
「ON LINE ミュージック市場の見通し」

前述の問題が、近い将来一応の解決が計られたと仮定した上で、ON LINE MUSICの市場の見通しはどうであろうか。

冒頭にある通り「IT革命」「Eコマース」と言う言葉が、現在キーワードとなって溢れている。「Eコマース」で音楽業界が、はっきりと区別しておく必要があるのは、同じネットを使った音楽ビジネスでも:

1. ネットで注文をとり、商品はCD等の「物」である場合
2. ネットを利用して、情報として「音楽」を配信販売する場合

の2つがあることである。



ネット先進国の米国で、これから伸びるであろうと予測されているのは1.の方であって、ある調査会社の予測によると、2005年にはこの「ネット通販」が録音音楽販売全体に占める割合が17.7%になるだろうとされている。因みに2000年度は5.4%という見通しである。

一方2.の方は、2000年度が0.1%、2005年になんでも2.4%であろうと予測されている。1曲DLする度にいくらとチャージする配信で音楽を売るという市場の形成は、それ程難しいと予測されている。

注目すべきは、Digital SubscriptionsがDL以上に伸びていくであろうという見通しである。これは、発信サイトに何千曲という録音音楽曲のデータベースを用意しておき、オン・デマンドによりストリーミング又は再生期限日時を設定したNon-permanent downloadで送り出し、月額料金をチャージして配信で音楽を聴かせる方法である。

「やがてCDは無くなる」とか、「アーチストが直接自分の音楽を消費者に売るようになるので、レコード会社もレコード店も要らなくなる」等と「音楽ビジネスに革命が起こる」のようなセンセーショナルなキャッチフレーズで、マスコミが囃し立てるので、業界外の人は本気にするかも知れないし、業界内の人も不安感を持つかもしれません。マスコミには何か話題を作っては、それを売って商売にするという側面があるので、これに振り回されないように注意することが肝腎と思う。

最近「A2C」とか称して「インターネット歌手」という試みがなされている。これはこれで結構なことだが、仮に1,000人の全く新しい歌手が、自分のサイトから自分の音楽を発信したとしても、そこから「スター」が誕生するのは難しい、という問題がある。その理由はこの業界の人間ならば誰でもわかることだ。例え才能豊かだが無名な「インターネット歌手」がいたとしても、自分のホームページで発信しているだけで、何十万人という人からアクセスなりDLの要求が来ることは考えにくい。検索することさえ困難である。

レコード会社とプロダクションとレコード店とが労力と金を使って、様々なメディアやイベントを通じて宣伝プロモーションした結果、しかも100名のうち2人が3人が、万人に愛されるスターとなる。この「スター作り」の機能があるからこそ「スター」は生まれ、ヒット曲が誕生する。それこそが音楽業界成長発展の推進力であって、「スター」のいない音楽業界など考えられない。

今をときめく「スター」が個人サイトから新曲を発信すれば、DLの需要はあるだろう。しかし「スター」は業界が作り上げたものであるし、例えその内の1,2人が個人サイトで発信を行ったとしても、その人気が落ちたときはそれまでで、同じところから次の「スター」が自動的に生まれることはない。つまり「スター作り」の機能がなくなれば、音楽産業は衰退していく。

「A2Cが音楽業界を変える」というのは、理屈上は成立するかもしれないが、現実には「幻想」ではないだろうか。

それではCD等のパッケージ商品は衰退していくか、について考えてみる。配信で圧縮音源ファイルを「1曲聴く毎に10円支払う」とか「それをDLして何回でも聴けるようにするためには300円支払う」等の方法で入手・聴取する。「それで十分、ジャケットなどの付属物はいらない」また、「自分の音楽の聴き方はイヤホン専門で、圧縮した音で十分である」という人にとっては、このシステムがよいだろうし、あるいは家が狭くて、CDなど置き場に困る、という人はそれを好むかもしれない。

そのような人が音楽愛好者の何割を占めるようになるだろうか、という問題で、もしこれが半分以上を占めるような時代になると、パッケージ商品への需要はだんだん下火になっていくかもしれない。そんな時代にはパッケージというものが、無くなりこそしないが「高級品」となって、現在より高価格になるとも考えられる。

また、日本だけの現象だが「CDレンタル」という合法的な市場がある。法的にまた技術的に規制が進んでネット

ト海賊が下火になり、配信で音楽を売れるという市場環境が整ったと仮定すると、DL販売によって一定金額をチャージする場合、このCDレンタルのレンタル料との価格差をどうするか、という問題も生じる。この点も今から考えておく必要があるだろう。

むしろ配信は新しい曲や歌手を「聴いてみる」ために利用するべきかもしれない。何回か聴いてみて、他の曲も聴きたいなと思ったら、その歌手のCDを買う、という人はそうするだろう。

先ほど紹介したDigital Subscription という配信技術の利用方法は、この路線を推進するやりかたではないか、と思われる。

(個人的には) この可能性が最も高いように思う。つまり、「配信」は新人歌手、新曲試聴用のツールとして利用する。言い換えれば、新しいスター作りやヒット曲を生み出すツールとして「配信」という新技术をコンテンツ・ホルダーのコントロール下で利用することである。

もし、このような形で「音楽配信」が発達すると、CDシングルという商品は次第に消えて行きCDアルバムだけがパッケージ商品となる可能性はある。

* * * * *

私たちは、情報技術（IT）の発展のために利用されるのではなく、音楽産業、音楽文化の健全な発展のために、こうした技術を利用するのではなければならない。

何十万人、何百万人という人々に愛される人気スター やヒット曲を、次々に生み出せるような「社会システム」にならなくては「音楽産業」が永続発展しないし「音楽文化」も永続発展しない。

世界の国々を眺めてみても、こうした「社会システム」の無い国、つまり「音楽著作権」の擁護が不十分で、ヒット作品の海賊行為が横行しているような国には、音楽文化も音楽産業も発展していない。

「IT革命」は「諸刃の剣」である。光の当たった部分、利便性だけが強調されがちではあるが、必ず影の部分、マイナスの影響をあたえる側面がある。

このネガティブな部分を抑え、いい面だけを利用するのが「人間の知恵」であろう。「原子物理学」の発展は、一方で「原子力発電」など、人間社会の発展に寄与する多大な貢献をしたと同時に、他面では「原爆」などを作ってしまった。

デジタル配信技術の発達を、音楽産業の永続発展にマイナスを齎さず、プラス効果を齎すように、細心の注意を払いつつ利用していくことが、我々にとって最も肝要であると思う。

「当協会の取り組み状況」

当協会は以上のような諸々の問題を抱えている現在、次の活動をしている。

まずこのデジタル・ネットワーク時代に「音源のセキュリティー」を護るために、SDMIへの参加を継続していく。これと同時に、以下2つの行動を開始した。

1. 新譜旧譜を含めて、CD化された全ての音楽を、楽曲単位で、一曲につき45秒の試聴音源を制作し、レコード店頭で自由に試聴できるよう進めている。本や雑誌の立ち読みと同じような便宜を提供し、CDの販売増に寄与することが目的である。具体的には今年6月に設立されたJMD(ジャパン・ミュージック・データ)という会社がこれを担当している。将来的には、家庭において、あるいは携帯電話で、試聴が出来るようになるだろう。

2. 配信技術の進歩により、間もなくPCなど使わずに携帯電話兼用の端末器で音楽を聴いたり、録音再生できるようになる。今後これが音楽配信の主流になるかもしれないが、海賊行為に利用されてしまう。そこで、音楽コンテンツの権利者である我々が主導権をもって、セキュリティーを保てるような「認証制度」を作ろうという意図のもとに「コンテンツセキュリティー管理センター」をレコード協会内に設立した。専門家を雇い、レコード会社各社の協力のもと、今年9月より研究活動を開始している。

第7回日本プロ音楽録音賞ノミネート作品決定

今年で7回目を迎えた日本プロ音楽録音賞の授賞式は「音の日」の12月6日(水)、東京・虎ノ門パストラルで行われます。

ノミネート作品は、各部門とも多数の応募作品の中から、ブラインドホールド形式の予備審査が行われ、下記が優秀作品授賞対象として選定されましたので紹介します。なお当日、下記作品の中から各部門毎に優秀作が発表され、担当のエンジニアが表彰されることになっています。(以下順不同／敬称略)

部門1：パッケージ・メディア（クラシック・ジャズ）[応募数…12作品]

○CD『Concierto De Aranjuez』より「ディアンス：タンゴ・アン・スカイ」

エンジニア：服部 文雄（ビクターエンタテインメント）／村治 佳織（ギター）ビクターエンタテインメント (VICC-60192)

○CD『Illusion』より「Turning Of The Dream」

エンジニア：高田 英男（ビクターエンタテインメント）／本田 雅人 ビクターエンタテインメント (VICJ-60553)

○CD『前橋 汀子 Romanza Andarusa』より「フォーレ：夢のあとに」

エンジニア：鈴木 浩二（ソニー・ミュージックエンタテインメント）／前橋 汀子（バイオリン）

ソニー・ミュージックエンタテインメント (SRCR-2504)

○CD『Sym.5,6:Immerseel』より「ベートーヴェン：交響曲5番“運命”」

エンジニア：内藤 哲也（ソニー・ミュージックエンタテインメント）／インマゼール指揮アニマ・エテルナ

ソニー・ミュージックエンタテインメント (SRGR-728)

○CD『Kick Up』より「Kick Up」

エンジニア：山崎 淳一（バップ）／エリック・ミヤシロ ヴィレッジ・レコード (VRCL-3011)

部門2：パッケージメディア（ポップス・ロック）[応募数…28作品]

○「らいおんハート」

エンジニア：岡 雅幸（ビクターエンタテインメント）／SMAP ビクターエンタテインメント (VICL-35185)

○「TSUNAMI」

エンジニア：林 憲一（ビクターエンタテインメント）／ザザンオールスターズ ビクターエンタテインメント (VIDL-30475A)

○CD『Siamshade 6』より「Allergy」

エンジニア：原 裕之（ミキサーズ・ラボ）／Siamshade ソニー・ミュージックエンタテインメント (SRCL-4880,1)

○「INSIDE」

エンジニア：下重 修（ミキサーズ・ラボ）／藤井 フミヤ ソニー・ミュージックエンタテインメント (AICT-1219)

○CD『ねむの木』より「Regina」

エンジニア：太田 安彦（ソニー・ミュージックエンタテインメント）／彩月 ポリドール (POCH-1846)

○CD『Breathe』より「6月の雨」

エンジニア：加納 洋一郎（ミキサーズ・ラボ）／Keno ユニバーサルビクター (MVCH-29046)

部門3：オーディオビジュアルパッケージメディア [応募数…1作品]

○「もうすぐ僕らはふたつの時代を超える恋になる」(DVD)

エンジニア：石塚 良一（ブレイン）／CHAGE&ASKA ヤマハミュージック (YCBRr-00001)

部門4：放送 [応募数…25作品]

○ストラヴィンスキー：組曲「火の鳥」『N響コンサート』より

エンジニア：岡崎 浩二（NHK放送技術曲制作技術センター） NHK 2000/02/05 BSTV放送

○M-1「世紀を越えて」より

エンジニア：深田 晃（NHK放送技術曲制作技術センター） NHK 2000/04/30 地上波TV放送

○タン・ドゥン：オーケストラ・シアター“門”「クラシックコンサート」より

エンジニア：濱崎 公男（NHK放送技術研究所） NHK 1999/12/10 BSTV放送

○ダルラピッコラ：オペラ「囚われびと」『ワンダフル・クラシックス』より

エンジニア：南 裕幸（NHK大阪放送局 現：NTS関西支社） NHK 2000/08/11 BSTV放送

なお、12月6日の授賞式にはノミネート作品に関わるエンジニアはもとより多くの録音エンジニアの方々にご参加頂き交流の場として積極的にご活用いただきますようお願いします。

国際技術会議 他

第10回国際レコード技術会議開催

標記会議が、9月11日、12日の2日間にわたりベルギー・ブリュッセルで開催されました。これはIFPI、RIAA、RIAJの各技術委員会が合同で毎年開催しているもので、今回はIFPIの主催で開催されました。当協会からは、技術委員会より斎藤委員長をはじめ4名の委員と事務局2名が参加しました。IFPIからはグリーン委員長はじめ5名、RIAAからはデビッドソン委員長以下6名の参加があり、初日はIFPIの欧洲支局会議室、2日目は近くのスタンホープ・ホテルで会議が行われました。

会議では、コピープロテクション問題などの議題をめぐって熱心な意見交換が行われ、今回初めて参加の斎藤委員長を含め当協会からの参加者全員が、改めて技術委員会の責務を再認識しました。

来年の同会議はRIAA主催で開催される予定です。

今回の主な議題と検討結果は次のとおりです。

・CDコピープロテクション

RIAAが検討中のもので、現在8技術が候補となっています。10月にレポートをまとめる予定です。

・CD-R海賊問題

欧米で増え続けるCD-R海賊盤について、許諾された合法のものとの識別法が議論されました。

・DVDオーディオ

SIDコードの実施についてはDVDライセンサー側とIFPI間での最終調整中です。

・DVD-AR（オーディオレコーダブル）

圧縮フォーマットの方式等についてのレコード産業側の要望が求められ、急遽テーマに挙がったもので、当協会としてのコメントを提出しました。

・電子透かし試聴テスト

SDMIフェーズ2の透かし技術の試聴テストの方針について議論されました。基本的にはABXテストによりますが、日本では今後具体的方法を検討することになります。

・コンテンツセキュリティ管理センター

当協会より、8月に発表したCSMセンターのプレゼンテーションを行いました。携帯配信についての認識が日本と他国とはかなりずれており、欧米では当分先の話と捉えているようでした。

・新IDプロジェクト

RIAAのプロジェクトで、さまざまなフォーマットで流通する同一音源を識別するためISRCプラス他の識別番号を検討しているものです。

・ASID (Audio Software Information Delivery)

1年間の活動について当協会から報告されました。

・サウンドアーカイビング

コロムビアが開発、運用中のアーカイビングシステムが紹介されました。

講演会「音楽を守る超流通」

標記講演会が、10月17日(火)当協会会議室において行われました。

「超流通」とは、コンテンツ情報を「所有する」ことに対価を払うのではなく、「使用する」ことに対して料金を支払う仕組みのこと、森亮一筑波大名誉教授が1983年に提唱した流通の一方式です。近年、ナップスターに代表される音楽著作権侵害行為が頻繁化する中、各方面から、この方式に対する評価が高まっています。「超流通」はデジタルコンテンツの円滑な流通を可能とする基盤技術であり、コンテンツの安全で自由な配布および再配布を可能にするものです。

しかし、権利者にとって、コピーが自由という概念は馴染みの薄いものです。特にわれわれレコード業界は、かねてからパッケージの複製に対して問題提起を続けている立場であることから、今回の講演会は、レコード協会会員を対象として、超流通の概念と実際にこれを応用した商用モデルを説明し、レコード製作者の理解を高めることを目的として開催されました。

なお、「超流通」はケータイdeミュージックによる音楽配信システムの根幹となる技術であり、この認証作業を当協会のコンテンツセキュリティ管理センター(デジタル音楽情報委員会主管)が担当します。

概要は以下のとおりです。

日時：平成12年10月17日(火) 15時～17時

場所：当協会第1、2会議室

内容：① 音楽を守る超流通

筑波大名誉教授 森亮一先生

② 超流通がもたらす新しいコンテンツ配信

サービスと急がれるその商用化

三洋電機(株)ハイパームディア研究所

日置敏昭氏

当日は富塚会長はじめ、当協会技術関係の各委員会、部会の委員を中心として60名の参加がありました。

森先生の講演はナップスターとの比較などを交えた判り易いもので、また日置氏は11月末にスタートするDDIポケットの配信モデルをテーマとした講演を行い、参加者全員、興味深く聞いていました。講演時間は予定をオーバーしたものの、講師のご厚意で、最後には活発な質疑応答が行われるなど、大変内容の濃い講演会となりました。

カラオケ対策委員会、不正商品対策協議会

カラオケ対策委員会 2000トーク&コンサート

カラオケ対策委員会は「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン」の一環として、毎年「トーク&コンサート～歌・想い…そして出逢い」を開催しています。本年度は下記3会場（札幌・仙台・新潟）において実施されました。以下が概要です。

・主催：カラオケ教室不法録音物対策委員会

・日程、会場、集客状況：

10月7日（土）札幌市

STV（札幌テレビ）ホール 400人／500人

10月24日（火）仙台市

仙台市青年文化センター 350人／500人

10月25日（水）新潟市

新潟県民会館 300人／300人（満席）

・出演者

札幌…彩木雅夫、荒木とよひさ、鈴木やすし、

杉尾聖二、千原早咲、工藤忠

仙台…鈴木淳、たきのえいじ、大谷明裕、

吉川精一、長谷川千恵、野中彩央里

新潟…遠藤実、いではく、鈴木淳、鈴木ヤスシ、

長谷川千恵、田村恵

・内容（各回共通）

第1部…「未来の演歌・歌謡曲 日本の歌 忘れられないメロディー」ビデオ上映後、作家と司会者の懇談

第2部…委員会からの挨拶に続き、歌唱指導＆歌手によるミニコンサート

いずれの開催地も多くの来場者があり、演歌・歌謡曲をこよなく愛する世代に、確実に著作権思想の普及・啓蒙活動の効果が浸透していると実感出来る内容でした。

特に札幌では、同時期に音楽イベント「MIX2000 in 札幌」が開催されていたこともあり、開催翌日(10/8)にはSTVラジオにて特集番組が放送されるなど、注目を集めました。仙台でも、開催翌日(10/25)の朝のニュースで取り上げられ、マスコミ関係の著作権への関心もより高くなってきていることがうかがえます。

また、新潟は(社)日本音楽著作権協会 遠藤会長の地元で、会場は満員となりました。

このイベントについては、今回で、ほぼ全国各地での開催を終了しました。今後対策委員会では、著作権講習会などより小人数を対象にして、更に啓蒙活動を続けていく予定です。

ヤフーネットオークションに対して要請書発送 知的財産及び消費者保護を要請

知的財産の保護と不正商品の排除を目的に権利者9団体（コンピュータソフトウェア著作権協会（ACCS）、日本映像ソフト協会（JVA）、日本音楽著作権協会（JASRAC）、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、日本国際映画著作権協会（JIMCA）、日本商品化権協会（JAMLA）、ビジネス・ソフトウェア・アライアンス（BSA）、ユニオン・デ・ファブリカン（UDF）、当協会）で組織されている不正商品対策協議会は、10月25日（水）に、知的財産及び一般消費者の保護の観点より「ヤフーオークション」を運営するヤフー（株）に対して、「出品者の身元確認の確実な実施とその徹底」、「出品物に対する常時監視及び不正商品発見時における削除等の確実な実施とその徹底」、「違法出品者の再度の出品を阻止するシステムの構築」、「不正商品に係る出品者の連絡先に関する照会等をした場合の責任ある協力体制の確立」および「不正商品の流通を阻止するための具体的な広報・啓発活動の促進」の5つの措置を求める要請書を発送しました。

現在のヤフーオークションでは、「メールアドレスさえあれば、身元確認のための何らかの手続きを経ることなく出品が可能である」、「権利者からの通報等により落札前に出品を削除された者が再び不正商品を出品するなど再出品を阻止するためのシステムが十分でない」などから、権利者は海賊版や偽ブランド品等の出品・落札といった共通の被害に遭遇しています。

この要請書の中で、同協議会は、インターネット・オークションそのものを否定してはいません。しかし、不正商品の出品が阻止されて権利者及び消費者が保護される体制が伴わないのであれば、インターネット・オークションが不正商品の取引や消費者被害の温床になるものと考える述べています。

なお不正商品対策協議会では、インターネット・オークションを利用する一般消費者が思わぬ被害に遭わぬよう、下記の3点についての「注意」も併せて呼び掛けています。

「インターネットオークション等で不正商品を購入しないための注意事項」

- ・出品者（相手方）の住所・氏名などの連絡先や身元を充分に確認すること
- ・扱う商品の種類や数量が多くたり、実価格に比べ極端に安い場合は注意すること
- ・通信記録や宅配便の送付状等の取引に関する伝票類を保管すること

GOLD ALBUM他 認定作品

2000年9月度

■アルバム（19作品）

【邦 楽】

●2ミリオン

Duty／浜崎あゆみ／2000.09.27 (AVT)

●ミリオン

Q／Mr.Children／2000.09.27 (TF)

●プラチナ

「あ～よかった」-setagaya mix-／花＊花／
2000.07.26 (WJ)
絶頂集／椎名林檎／2000.09.13 (TO)
サウダージ／ポルノグラフィティ／2000.09.13
(SME)

●ゴールド

太陽とヘミングウェイ／今井美樹／2000.08.23
(WJ)
(初)／Whiteberry／2000.09.06 (SME)
As One／久保田利伸／2000.09.17 (SME)
ONE KNIGHT STANDS／山崎まさよし／
2000.09.25 (PO)

【洋 楽】

●クワドラブル・プラチナ

～ザ・モスト・リラクシング～ フィール／V.A./
2000.03.23 (TO)

●トリプル・プラチナ

クラッシュ／ボン・ジョヴィ／2000.05.17 (UM)

●ダブル・プラチナ

image／V.A./2000.08.23 (SME)

●プラチナ

ミュージック／マドンナ／2000.09.18 (WJ)
ウォーニング／グリーン・ディ／2000.09.20
(WJ)

●ゴールド

ダンスマニアX7／スマイル dk.他／2000.07.19
(TO)
ディープ・カツツ／MR.BIG／2000.07.26 (WJ)

ダンスマニア ユーロ☆ミックス ハッピーパラダイス／スマイル dk.他／2000.08.23 (TO)

洋楽一番～Jive Super Hits～／V.A./
2000.08.30 (AVT)

キッドA／レディオヘッド／2000.09.27 (TO)

■シングル（15作品）

【邦 楽】

●トリプル・プラチナ

とまどい／SPECIAL THANKS／GLAY／
2000.08.23 (PC)
らいおんハート／SMAP／2000.08.30 (V)

●ミリオン

慎吾ママのおはロック／慎吾ママ（香取慎吾）／
2000.08.18 (V)

●ダブル・プラチナ

HOTEL PACIFIC／サザンオールスターズ／
2000.07.19 (V)

●プラチナ

ZOO／ECHOES／2000.07.19 (SME)
夏祭り／Whiteberry／2000.08.09 (SME)
I WISH／モーニング娘。／2000.09.06 (EP)
ZOO～愛をください～／蓮井朱夏／2000.09.27
(SME)
Simply Wonderful／倉木麻衣／2000.08.02
(GZ)
SURREAL／浜崎あゆみ／2000.09.27 (AVT)

●ゴールド

TMC Graffiti／TMC ALLSTARS／2000.07.26
(V)
tears／Fayray／2000.07.26 (AR)
Get U're Dream／ZARD／2000.09.06 (BG)
How You Like Me Now?／m-flo／2000.09.06
(AVT)
Reality/Dancin' in／鈴木あみ／2000.09.27
(SME)

※AR：アンティノスレコード／AVT：エイベックス／BG：ビーグラムレコーズ／BM：ルームスレコーズ／BMG：BMGファンハウス／C：日本コロムビア／CA：カナリー企画／CR：日本クラウン／CT：カッティング・エッジ／EP：ゼティマ／EW：イーストウエスト・ジャパン／FL：フォーライフレコード／GZ：ギザ／JE：ジャニーズ・エンタテインメント／JF：J-FRIENDS P.／K：キングレコード／KT：キティエンターブライズ／ME：メルダック／MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント／PC：ポニーキャニオン／PG：ポリグラム／PI：パイオニアLDC／PO：ポリドール／PZ：ピザ・オブ・デス・レコード／SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント／SN：SENHA & CO.／TE：ティチクエンタテインメント／TF：トイズ・ファクトリー／TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ／TO：東芝EMI／UM：ユニバーサルミュージック／V：ビクターエンタテインメント／VAP：バップ／WJ：ワーナーミュージック・ジャパン／ZA：ヴァインレコード

世界の話題

オリンピック、音楽使用料論争

APRA(オーストラリア演奏権団体)は、シドニー・オリンピックで使用された音楽の演奏使用料について、オリンピック実行委員会ともめており、この紛争の裁定を著作権審判所に求めました。ヒアリングは、当初10月3日に予定されていましたが、16日に延期されました。

シドニーオリンピックは16日間の会期で行われ、開会式ではオリジナル楽曲が数曲と豪映画のテーマ曲などが演奏され、500万豪ドル(270万米ドル)もの費用がかけられた閉会式では豪アーチスト達がコンサートを行いました。会期中、会場ではさまざまな楽曲が演奏され、また、競技にも数多くの楽曲が使用されました。

両者は、昨年2月にシドニーオリンピックにおける音楽使用の範囲と許諾のオプションについて交渉を始めており、APRAはパラリンピックを含めて、200万豪ドルの包括許諾を実行委員会に提案していました。しかし実行委員会側がこの提案に応じなかったために裁定を仰ぐこととなったものです。

度重なる交渉の後、実行委員会はオリンピック終了までの本件決着の延期を申し入れ、合同の信用基金に150万豪ドルを積み立てました。

APRAは「作家には使用料の支払いを受ける権利がある。実行委員会は我々の要求額を用意していないと言うが、音楽なしには開会式も閉会式も出来なかつたはずだ。内外を問わず作家にはその才能に対して対価が支払われるべきだ」と述べています。

来年の2月か3月頃に結論が出る予想ですが、実行委員会側はこれに対するコメントを差し控えています。

(ビルボード 00/10/14)

RIAAとHFAがデジタル・ライセンス方法で合意

アメリカでは、今秋開始予定のメジャー・レーベルのダウンロードや他のフォーマットでのデジタル配信

に関し、RIAA(アメリカ・レコード協会)、HFA(ハイマー・フォックス・エージェンシー)、NMPA(全米音楽出版社協会)が、インターネット上の音楽配信の簡略化されたライセンス方式について合意をしました。

HFAは、オンライン音楽配信に対する消費者の需要増加を見込み、インターネットのライセンス・プログラムを拡大し続けると同時に、多数の配信業者とも合意を結んでいます。

RIAAとHFAの合同発表によると、HFAを通じてこの方式でライセンスされる音楽作品に対して、合理的な手続き方法を確立することで合意したとのことです。この手続きによって、消費者が電子的配信を行う際、音楽出版社に対して行う権利処理の手続きにかかる時間と労力をかなり削減することができます。

NMPAの会長エド・マーフィー氏によれば、この方法によって、著作権者とパートナーである作家にとって重要な要素であるインターネット音楽ファイルの正確な識別が可能になります。

RIAA上級執行副会長キャリー・シャーマン氏は、この方法でデジタル・ダウンロードのライセンスがかなり簡略化され、消費者に対し、より容易に、より速く、多くの音楽を提供することが可能となると述べました。

10月10日に、NMPAとRIAAはこのインターネット・ライセンスの方法を発表しましたが、この日、メジャー1社が、アルバムとシングル100タイトルのダウンロード販売に着手し、クリスマス前には2,500タイトルをサイトに載せることを発表しました。

5メジャーのうち4社が既にダウンロード販売を開始し、残りの1社も11月に販売開始の予定です。

オンライン音楽ライセンスを規定する米国著作権法に則って協議されたRIAAとNMPAの合意は、国会図書館によって正式に採択されるデジタル配信ライセンスに関する規則の発効日若しくは2001年9月30日のいずれか早い日が到来するまで有効です。

(ビルボード 00/10/21)

会議メモ(主なもの)

(10月1日～10月31日)

- 10・2 日本GD大賞委員会
- 10・3 音楽ギフトカード委員会
ビデオプロジェクト
- 10・4 二次使用料委員会
- 10・10 レコード制作基準倫理委員会
- 10・11 インターネット部会
著作権部会
宣伝部会

- 10・12 JASRAC委員会
配信使用料WG
- 10・13 eCATS-WG
ビデオプロジェクト
- 10・16 営業部会
- 10・17 講演：超流通
- 10・18 資材専門部会
業務委員会
- 10・20 マーケティング戦略会議
DMI-WG
ビデオ部会
- 10・24 消費者専門部会
- 10・24 法制委員会
洋楽宣伝専門部会
デジタル音楽情報委員会
インターネット部会サイト運営WG
- 10・25 労政部会
- 10・27 理事会
三団体連絡協議会
共通目的基金関係代表者会議
- 10・30 著作権部会幹事会
- 10・31 ACP研究会
洋楽著作権講座
廃盤セールプロジェクト



レコード生産実績

2000年9月度(00年9月1日～00年9月30日)

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

| | | | 9月 実 績 | | | | | 2000年(1月～9月) 累 計 | | | | | | |
|----------------|---------|--------|--------|-----|---------|-------|-----|------------------|---------|-----|---------|--------|----|-----|
| | | | 数 量 | 構成比 | 前 年 同月比 | 金 額 | 構成比 | 前 年 同月比 | 数 量 | 構成比 | 前 年 同期比 | 金 額 | | |
| シングル | 8cm CD | 邦 | 2,159 | 6 | 47 | 811 | 2 | 37 | 25,909 | 8 | 35 | 13,372 | 3 | 29 |
| | | 洋 | 3 | 0 | 5 | 2 | 0 | 20 | 120 | 0 | 22 | 80 | 0 | 26 |
| | | 計 | 2,163 | 6 | 46 | 813 | 2 | 37 | 26,028 | 8 | 35 | 13,452 | 3 | 29 |
| | 12cm CD | 邦 | 10,666 | 30 | 177 | 8,250 | 19 | 173 | 77,909 | 25 | 208 | 61,016 | 16 | 212 |
| | | 洋 | 84 | 0 | 60 | 73 | 0 | 62 | 677 | 0 | 62 | 589 | 0 | 65 |
| | | 計 | 10,749 | 30 | 174 | 8,323 | 19 | 170 | 78,586 | 25 | 204 | 61,605 | 16 | 208 |
| | 小計 | 邦 | 12,825 | 36 | 120 | 9,061 | 21 | 130 | 103,818 | 33 | 93 | 74,389 | 19 | 99 |
| | | 洋 | 87 | 0 | 43 | 75 | 0 | 59 | 797 | 0 | 49 | 668 | 0 | 55 |
| | | 計 | 12,912 | 36 | 119 | 9,136 | 21 | 128 | 104,615 | 33 | 92 | 75,057 | 19 | 99 |
| 12cmCD アルバム | 邦 | 13,818 | 38 | 77 | 22,981 | 52 | 81 | 144,315 | 46 | 102 | 232,231 | 59 | 95 | |
| | 洋 | 7,691 | 21 | 110 | 10,634 | 24 | 101 | 51,716 | 16 | 92 | 73,907 | 19 | 88 | |
| | 計 | 21,510 | 60 | 87 | 33,615 | 76 | 86 | 196,031 | 62 | 99 | 306,138 | 78 | 93 | |
| CD 合 計 | 邦 | 26,643 | 74 | 93 | 32,042 | 73 | 91 | 248,132 | 79 | 98 | 306,620 | 78 | 96 | |
| | 洋 | 7,778 | 22 | 109 | 10,709 | 24 | 100 | 52,513 | 17 | 91 | 74,575 | 19 | 88 | |
| | 計 | 34,422 | 96 | 96 | 42,750 | 97 | 93 | 300,646 | 96 | 96 | 381,195 | 97 | 94 | |
| アナログ ディスク | 邦 | 89 | 0 | 19 | 80 | 0 | 12 | 1,288 | 0 | 68 | 1,290 | 0 | 59 | |
| | 洋 | 9 | 0 | 25 | 12 | 0 | 32 | 235 | 0 | 67 | 335 | 0 | 71 | |
| | 計 | 98 | 0 | 20 | 92 | 0 | 13 | 1,523 | 0 | 67 | 1,625 | 0 | 61 | |
| カセット テープ | 邦 | 1,402 | 4 | 108 | 1,278 | 3 | 122 | 12,506 | 4 | 97 | 9,995 | 3 | 95 | |
| | 洋 | 2 | 0 | 52 | 3 | 0 | 43 | 66 | 0 | 87 | 58 | 0 | 81 | |
| | 計 | 1,404 | 4 | 108 | 1,281 | 3 | 121 | 12,572 | 4 | 97 | 10,053 | 3 | 95 | |
| 総合計 | 邦 | 28,134 | 78 | 93 | 33,400 | 76 | 90 | 261,926 | 83 | 97 | 317,905 | 81 | 96 | |
| | 洋 | 7,790 | 22 | 108 | 10,723 | 24 | 100 | 52,815 | 17 | 91 | 74,968 | 19 | 87 | |
| | 計 | 35,924 | 100 | 96 | 44,123 | 100 | 92 | 314,740 | 100 | 96 | 392,873 | 100 | 94 | |

表2. ビデオレコード

| | | | 9月 実 緒 | | | | | 2000年(1月～9月) 累 計 | | | | | |
|--------|--|-------|--------|-----|---------|-----|-----|------------------|-----|-----|---------|-----|-----|
| | | | 数 量 | 構成比 | 前 年 同月比 | 金 額 | 構成比 | 前 年 同月比 | 数 量 | 構成比 | 前 年 同期比 | 金 額 | |
| DVD | | 2,366 | 59 | 369 | 6,367 | 53 | 405 | 15,109 | 46 | 382 | 35,793 | 39 | 394 |
| LD・その他 | | 203 | 5 | 55 | 399 | 3 | 45 | 2,445 | 7 | 68 | 4,940 | 5 | 57 |
| テープ | | 1,467 | 36 | 80 | 5,274 | 44 | 75 | 15,493 | 47 | 95 | 51,874 | 56 | 89 |
| 合 計 | | 4,036 | 100 | 141 | 12,040 | 100 | 127 | 33,047 | 100 | 138 | 92,607 | 100 | 122 |

表3. オーディオ/ビデオ合計

| | | | 9月 実 緒 | | | | | 2000年(1月～9月) 累 計 | | | | | |
|-------|--|--------|--------|-----|---------|-----|-----|------------------|-----|-----|---------|-----|-----|
| | | | 数 量 | 構成比 | 前 年 同月比 | 金 額 | 構成比 | 前 年 同月比 | 数 量 | 構成比 | 前 年 同期比 | 金 額 | |
| オーディオ | | 35,924 | 90 | 96 | 44,123 | 79 | 92 | 314,740 | 90 | 96 | 392,873 | 81 | 94 |
| ビデオ | | 4,036 | 10 | 141 | 12,040 | 21 | 127 | 33,047 | 10 | 138 | 92,607 | 19 | 122 |
| 合 計 | | 39,960 | 100 | 99 | 56,163 | 100 | 98 | 347,788 | 100 | 99 | 485,480 | 100 | 98 |

<参考>表4. 複合型CD (CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

| | | | 9月 実 緒 | | | | | 2000年(1月～9月) 累 計 | | | | | |
|-----|--|--------|--------|-----|---------|-----|-----|------------------|-----|-----|---------|-----|----|
| | | | 数 量 | 構成比 | 前 年 同月比 | 金 額 | 構成比 | 前 年 同月比 | 数 量 | 構成比 | 前 年 同期比 | 金 額 | |
| 邦盤 | | 14,426 | 100 | 110 | 1,341 | 100 | 72 | 133,180 | 100 | 119 | 14,698 | 100 | 90 |
| 洋盤 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | | 14,426 | 100 | 110 | 1,341 | 100 | 72 | 133,180 | 100 | 119 | 14,698 | 100 | 90 |

備考 1. 本年実績は、会員会社「24社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。

2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

統計資料

(163)

CDのジャンル別新譜数の推移

表1 12センチCDアルバム

本号は、1年間に発売されたコンパクトディスクの新譜数のジャンル別推移を紹介します。

単位:枚

| 種類 | | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | |
|----|-------------|-----------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 邦曲 | 歌謡 | 演歌 | — | 151 | 242 | 229 | 355 | 576 | 655 | 571 | 492 | 521 | 690 | 670 | 526 | 498 | 474 | 422 |
| | | ポップス歌謡曲 | — | 355 | 445 | 584 | 508 | 616 | 603 | 818 | 711 | 693 | 695 | 658 | 894 | 646 | 812 | 624 |
| | | ニューミュージック | — | 681 | 929 | 1,170 | 1,143 | 1,323 | 1,629 | 1,932 | 2,094 | 2,088 | 2,538 | 2,252 | 1,951 | 2,072 | 2,346 | 1,944 |
| | | 小計 | 450 | 1,187 | 1,616 | 1,983 | 2,006 | 2,515 | 2,887 | 3,321 | 3,297 | 3,302 | 3,923 | 3,580 | 3,371 | 3,216 | 3,632 | 2,990 |
| | 軽音楽 | 90 | 163 | 278 | 386 | 329 | 395 | 567 | 574 | 601 | 533 | 545 | 492 | 561 | 462 | 346 | 371 | |
| | 民謡・純邦楽 | 14 | 32 | 67 | 54 | 78 | 128 | 302 | 172 | 103 | 231 | 140 | 131 | 185 | 255 | 290 | 235 | |
| 盤 | 教育・教材・童謡・童話 | 14 | 73 | 161 | 213 | 179 | 345 | 479 | 380 | 422 | 295 | 216 | 274 | 285 | 261 | 239 | 206 | |
| | アニメーション | — | 67 | 149 | 212 | 175 | 259 | 327 | 471 | 552 | 578 | 642 | 721 | 934 | 800 | 860 | 705 | |
| | クラシック | 14 | 44 | 93 | 177 | 314 | 273 | 345 | 424 | 481 | 470 | 384 | 364 | 297 | 358 | 371 | 363 | |
| | カラオケ | 351 | 73 | 127 | 166 | 92 | 107 | 172 | 243 | 133 | 96 | 50 | 38 | 29 | 6 | 1 | 1 | |
| | その他 | 41 | 39 | 41 | 53 | 80 | 195 | 208 | 157 | 138 | 239 | 218 | 324 | 227 | 284 | 186 | 298 | |
| | 邦盤計 | 974 | 1,678 | 2,532 | 3,244 | 3,253 | 4,217 | 5,287 | 5,742 | 5,727 | 5,744 | 6,118 | 5,924 | 5,889 | 5,642 | 5,925 | 5,169 | |
| 洋盤 | ロック・ディスコ | 161 | 308 | 821 | 1,342 | 1,608 | 2,356 | 2,837 | 3,498 | 2,827 | 3,212 | 2,917 | 3,257 | 3,484 | 3,849 | 4,079 | 2,810 | |
| | ジャズ・フュージョン | 146 | 337 | 745 | 1,090 | 1,245 | 1,288 | 1,300 | 1,759 | 1,510 | 1,524 | 1,372 | 1,074 | 1,187 | 1,292 | 1,455 | 1,210 | |
| | ボビュラーミュージック | 143 | 162 | 257 | 470 | 337 | 553 | 689 | 747 | 775 | 825 | 741 | 871 | 692 | 850 | 856 | 550 | |
| | 映画音楽 | 15 | 58 | 67 | 114 | 90 | 110 | 127 | 169 | 202 | 256 | 237 | 241 | 182 | 211 | 233 | 212 | |
| | その他 | 121 | 93 | 155 | 120 | 238 | 248 | 200 | 178 | 271 | 162 | 261 | 227 | 261 | 166 | 291 | 141 | |
| | 小計 | 586 | 958 | 2,045 | 3,136 | 3,518 | 4,555 | 5,153 | 6,351 | 5,585 | 5,979 | 5,528 | 5,670 | 5,806 | 6,368 | 6,914 | 4,923 | |
| 盤 | クラシック | 537 | 1,910 | 2,141 | 2,392 | 2,281 | 3,366 | 3,761 | 4,352 | 3,803 | 3,973 | 3,879 | 4,128 | 5,056 | 3,906 | 2,966 | 2,473 | |
| | その他 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 17 | 2 | 6 | 20 | 1 | 2 | 0 | 5 | 9 | 2 | 8 | |
| | 洋盤計 | 1,123 | 2,868 | 4,187 | 5,528 | 5,800 | 7,938 | 8,916 | 10,709 | 9,408 | 9,953 | 9,409 | 9,798 | 10,867 | 10,283 | 9,882 | 7,404 | |
| | 合計 | 2,097 | 4,546 | 6,719 | 8,772 | 9,053 | 12,155 | 14,203 | 16,451 | 15,135 | 15,697 | 15,527 | 15,722 | 16,756 | 15,925 | 15,807 | 12,573 | |
| | (-) | (217) | (148) | (131) | (103) | (134) | (117) | (116) | (92) | (104) | (99) | (101) | (107) | (95) | (99) | (83) | | |

備考1.'84年の歌謡曲の内訳及びアニメーションの統計はありません。()内は対前年比。

2.'99年から12センチCDはアルバムとシングルに区分した。

表2 12センチCDシングル

表3 8センチCD

単位:枚

| 種類 | | 99 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | |
|----|-------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 邦曲 | 歌謡 | 演歌 | 2 | 136 | 241 | 420 | 669 | 495 | 467 | 651 | 461 | 459 | 515 | 686 | 484 |
| | | ポップス歌謡曲 | 196 | 522 | 543 | 520 | 616 | 583 | 490 | 487 | 498 | 728 | 633 | 652 | 482 |
| | | ニューミュージック | 714 | 790 | 801 | 655 | 740 | 874 | 1,115 | 1,104 | 1,146 | 977 | 900 | 1,008 | 621 |
| | | 小計 | 912 | 1,448 | 1,585 | 1,595 | 2,025 | 1,952 | 2,072 | 2,242 | 2,105 | 2,164 | 2,048 | 2,346 | 1,587 |
| | 軽音楽 | 5 | 24 | 34 | 16 | 10 | 19 | 27 | 9 | 10 | 12 | 2 | 7 | 15 | |
| | 民謡・純邦楽 | 2 | 2 | 5 | 104 | 141 | 24 | 34 | 23 | 59 | 31 | 32 | 21 | 15 | |
| 盤 | 教育・教材・童謡・童話 | 3 | 34 | 75 | 50 | 12 | 12 | 8 | 23 | 25 | 16 | 31 | 21 | 6 | |
| | アニメーション | 39 | 37 | 85 | 69 | 80 | 85 | 84 | 124 | 171 | 182 | 195 | 207 | 141 | |
| | クラシック | 1 | 56 | 19 | 11 | 2 | 3 | 9 | 2 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | |
| | カラオケ | 0 | 102 | 16 | 10 | 10 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他 | 1 | 15 | 74 | 6 | 49 | 30 | 5 | 37 | 3 | 6 | 13 | 11 | 19 | |
| | 邦盤計 | 963 | 1,718 | 1,893 | 1,861 | 2,329 | 2,128 | 2,239 | 2,460 | 2,373 | 2,413 | 2,322 | 2,615 | 1,783 | |
| 洋盤 | ロック・ディスコ | 187 | (-) | (110) | (98) | (125) | (91) | (105) | (110) | (96) | (102) | (96) | (113) | (68) | |
| | ジャズ・フュージョン | 4 | 520 | 695 | 518 | 443 | 288 | 196 | 188 | 132 | 65 | 47 | 32 | 8 | |
| | ボビュラーミュージック | 45 | 57 | 30 | 25 | 18 | 4 | 9 | 14 | 3 | 12 | 2 | 2 | 0 | |
| | 映画音楽 | 8 | 49 | 90 | 88 | 88 | 73 | 106 | 91 | 72 | 46 | 32 | 7 | 3 | |
| | その他 | 0 | 6 | 13 | 12 | 4 | 8 | 4 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 小計 | 244 | 641 | 832 | 654 | 558 | 374 | 317 | 301 | 218 | 126 | 81 | 41 | 11 | |
| 盤 | クラシック | 18 | 109 | 55 | 34 | 46 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 28 | 2 | 0 | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | 洋盤計 | 262 | 750 | 887 | 688 | 604 | 374 | 317 | 301 | 219 | 127 | 109 | 44 | 12 | |
| | 合計 | 1,225 | 2,468 | 2,780 | 2,549 | 2,933 | 2,502 | 2,556 | 2,761 | 2,592 | 2,540 | 2,431 | 2,659 | 1,795 | |
| | (205) | (-) | (113) | (92) | (115) | (85) | (102) | (94) | (98) | (96) | (109) | (68) | | | |

備考:()内は対前年比。

サンプル盤、プロモーション盤の売買について

「サンプル」、「見本盤」等といったステッカーや刻印の表示があるCD等の録音物は、レコード会社がプロモーション等の目的で、試聴用として「貸与」しているものです。従って、そのサンプル等の所有権はレコード会社が有しているので、そのレコード会社に無断で譲渡や売買することができません。

RIAJ
Recording Industry Association of Japan 2000年11月号

発行人 富塚 勇
編集人 木村 三郎
発行日 2000年11月10日
発 行 社団法人 日本レコード協会
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F
TEL.03-3541-4411 (代)
FAX.03-3541-4460 (代)
URL:<http://www.jmusic.ne.jp/>